

太原市中高生との オンライン交流会

9月23日(月)に、姫路市の海外友好都市である中国・太原市とのオンライン交流会を実施しました。姫路市からは中学生7名、高校生3名が参加し、太原市からは、太原第二外国語学校で日本語を学んでいる生徒と英語を学んでいる生徒、合わせて16名が参加しました。

はじめに財団の副理事長と、太原第二外国語学校の校長先生があいさつしました。また、太原市出身で姫路市に住んでおられる王さんと于さんからもあいさつしました。その後、生徒一人ひとりが、自己紹介をしました。太原市の生徒は日本語の勉強を始めて1年ばかりとのことでしたが、流暢な日本語での自己紹介に、姫路市の生徒はみな驚いていました。



お互いの町を紹介するプレゼンテーションでは、事前研修で作成したパワーポイントで姫路の魅力を伝えました。太原市のプレゼンテーションは、動画を使って太原の自然や文化などが紹介されました。クイズの時間には、姫路に関する問題や太原に関する問題にそれぞれが挑戦しました。

最後のトピックトークでは、学校生活や食べ物をテーマに、少人数グループで話しました。緊張していた生徒もいましたが、限られた時間の中で精いっぱい質問したり答えたりして交流しました。



参加した生徒からは、「太原市の生徒が日本語を学んでいることが嬉しかった」「自分も英語力を伸ばしてもっとコミュニケーションを取れるようになりたい」などの感想がありました。あっという間に交流の時間は終わってしまいました。この交流会をきっかけに、自分の世界を広げ、これからも世界のさまざまな人たちと交流を楽しんでほしいと思います。